

第1回 島根県雲南市「永井隆平和賞」発表式典

愛と平和をテーマにした作文・小論文を募集し、優秀作品を表彰する「永井隆平和賞」の発表式典が三刀屋文化体育館アスパルでありました。

今回は、これまで三刀屋町



で募集してきた小・中・高校生に、成人の部を新たに設け、全国各地から合わせて1,935点の作品が寄せられ、厳正なる審査の結果、各部門の優秀作品が選ばれました。

雲南市合唱連盟の総勢150名による「長崎の鐘」の斉唱で華やかにスタート。

式典は、速水市長から入賞者へ表彰状が授与されたほか、小学生の部・最優秀賞の船田あかりさんと中学生の部・最優秀賞の高良愛子さんが、それぞれ入賞作品を朗読しました。



式典に続いて、飯石小学校の5・6年生が平和学習の取り組みについて熱心に勉強し

永井隆平和賞入賞者

小学生の部（総数854点）

賞	氏名	テーマ	都道府県名	学校名及び学年
最優秀賞	船田あかり	「許す」ということ	島根県	江津市立津宮小学校6年
優秀賞	小畑舞佑子	ながいはかせのねがいわすれない	島根県	雲南市立多根小学校1年
佳作	赤田希美子	愛と地球とわたしと	島根県	出雲市立北陽小学校3年
佳作	谷口 洋志	ぼくのひとやく	島根県	雲南市立三刀屋小学校1年
佳作	錦織 優宏	ぼくのたからもののどんぐり	三重県	松阪市立第五小学校2年

中学生の部（総数742点）

賞	氏名	テーマ	都道府県名	学校名及び学年
最優秀賞	高良 愛子	祖母の背中に見たもの	沖縄県	豊見城市立立嶺中学校3年
優秀賞	有賀 茜	平和を祈る心ー永井隆が遺したものー	北海道	藤女子中学校2年
佳作	上坂 宣基	言葉の力	福井県	丸岡町立丸岡中学校2年
佳作	池田 優加	ありがとう	島根県	雲南市立木次中学校2年
佳作	谷山友佳子	第一歩	島根県	雲南市立三刀屋中学校3年

高校生の部（総数250点）

賞	氏名	テーマ	都道府県名	学校名及び学年
優秀賞	下地紗由莉	子供はいつも犠牲者	沖縄県	沖縄県立宮古高等学校2年
佳作	上坂 栄太	新しい人	福井県	
佳作	川上 夏美	己の如く	島根県	島根県立三刀屋高等学校2年
佳作	大矢 透	事実を知ることから相互理解・平和へ	山口県	高水高等学校2年

成人の部（総数89点）

賞	氏名	テーマ	都道府県名
優秀賞	田島 慶康	良心を呼び起こす細い声	京都府
佳作	出雲 正明	世界平和への願い	神奈川県
佳作	平山 陽子	広島が一番静かな日	広島県
佳作	西田 篤	HIROSHIMAにおける新たな平和教育を考える	広島県

高校生の部、成人の部の最優秀賞には該当がありませんでした。

た成果を発表しました。最後に来場者全員で「ふるさと」を斉唱し感動のうちに終了しました。



シリーズ「地域自主組織」を考える③

「地域自主組織」の検討の進め方

～先行事例からヒントを学ぼう～



島根県中山間地域研究センター 地域研究グループ 笠松 浩樹

シリーズ最終回の今号では、他市の事例から「地域自主組織」を運営するヒントを見ていきましょう。

「気負わず無理のない活動を進める！」
出雲市佐田町「朝原地区振興協議会」は、「事業が先ではなく、とりあえず立ち上げてみよう」ということで、平成10年に設立されました。動き始めて数年後、ようやく「こんなものなんだ」ということを実感しています。

現在は、文化部、体育部、環境美化部、健康福祉部、観光産業部、総務部などの他、サークルやクラブがあります。これらは、特に意識をして手を広げたわけではなく、これまであったサークルやグループを取り込んで組織化されました。

世話焼き層は40歳代まで。高校生から40歳代までの若者層がボランティアで祭りやイベント等に参加しています。これまで、若い世代が地域の活動に参加することはありませんでした。

若い世代が農作業に関わっていると何もできませんが、農業は年輩層が担い、若者が主体となって地域の活動をしています。年輩層の理解があるからこそ活動が進んでいると言えます。

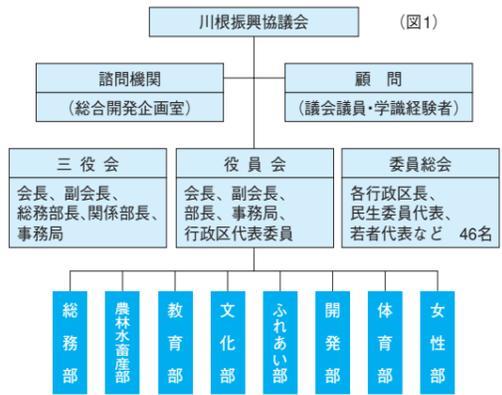
女性の参画で地区が元気になった！
同「毛津振興協議会」では、住民による5カ年計画を策定しています。福祉部門の計画をつくる時、地区の女性の方々に全面的にお願いしました。

以前は、女性は会合に出ることが少なく、出て発言することがありませんでした。しかし、女性が活躍できる場ができたことで、「自分の思っていたことが形になった」、「これまで話したことのない人とも仲良しになれた」という声が聞かれるようになりました。

今では、活動は女性が来なければ始まらないという状況になり、結果的に地区全体がとも元気になっています。

住民が「もう一つの役場」を担う！
広島県安芸高田市「川根振興協議会」では、水害復興をきっかけに約30年前に協議会を結成しました。それ以来、積極的な活動を行っています。

協議会の組織は多くの部会から成り立ち（図1）、それぞれがきめ細かな活動を展開しています。道路改修の時には住民が用地交渉を行い、特産品の産を活かすためにジュースの製造を手がけ、車の運転ができない高齢者のためにスパーを運営するなど、生活の維持、収益の確保、福祉といった多方面から暮らしをカバーしてい



ます。
川根地区では、住民が自らアイデアを出し、活動を行い、生活を守っています。協議会は、それを実現する仕組みであり、地域を全般的に目配りする役割を担っています。まさに「もう一つの役場」と表現できます。
終わりに
それぞれの事例では、形が見えてくるまである程度の時間を要しています。雲南市では「地域自主組織」の検討が始まったばかり。地区の実情や若い世代の意見を十分につかみ、住民同士が議論しながら、地区がもっと好きになる仕組みを考えてみてください。まずは楽しみを織りまぜながら話し合いを始めてみましょう！

いきいき雲南



先日、ホシザキグリーン財団主催による今森光彦さんというプロの写真家の講演を聞ききました。
自然を対象とした創作活動を通じて感じられた自然の美しさ、そこで練り上げられる生物の営みの不思議さ、素晴らしさを話されました。
その中で、「鶏卵より小さいシジユウガラ(四十雀)」という鳥は、生涯に2万kgもの昆虫を食べる。となるとあらゆる小鳥が食べる昆虫の量は計り知れない。そうした昆虫はまさに生態系維持のための神様からの贈り物」と話されました。

虫にも命があります。むやみに踏みにじつてはいけません。小鳥が生きて延びるための神様からの贈り物であれば、人間が情探を養うための昆虫採集の対象であることも許されると思えます。

子供がナイフで鉛筆を削れない、魚釣りやハリに餌を付けられない等の話をよく聞きます。そうした体験をしていなければ出来ないのは当然です。屋外での様々な体験は、優しさ強さ逞しさを育みます。

そうしたことを教える家庭の教育力、地域の教育力を高めることが今強く求められています。

(雲南市長 速水雄一)

雲南市誕生1周年記念式典開催

【問】総務部総務課 ☎0854-40-1021

雲南市では、合併1周年を記念した式典を開催します。

- とき 平成17年11月3日(木) 文化の日
- ところ 雲南市三刀屋文化体育館 アスパル
- 10時10分〜記念映像上映、10時30分〜記念式典、13時30分〜雲南市太鼓フェスティバル